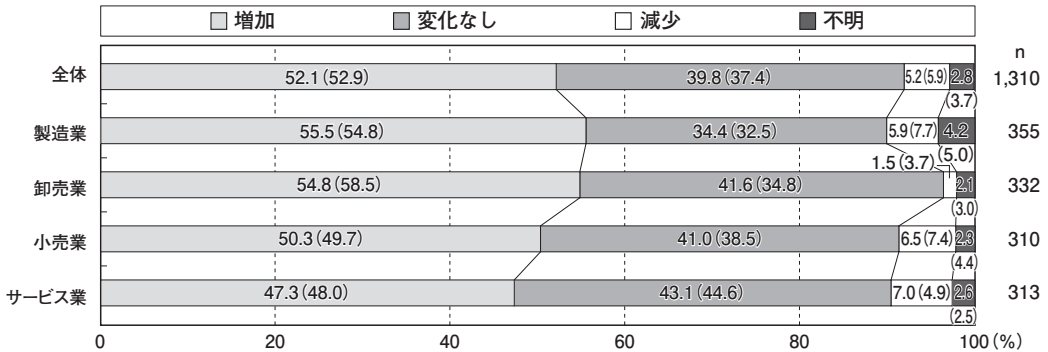


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した 2024年（令和 6 年）7 月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が 52.1%（前回調査 52.9%）と最も高く、「変化なし」が 39.8%（同37.4%）、「減少」が 5.2%（同5.9%）の順で続いた。

図表 6 コストの変化（前年同月比）



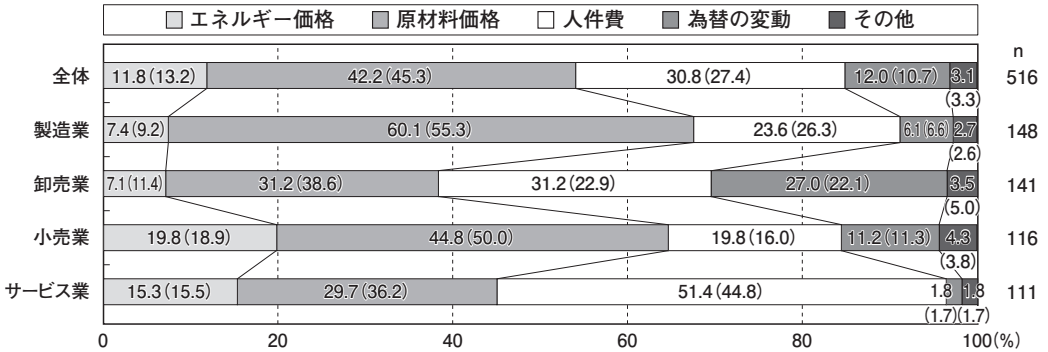
注) 無回答を除き集計。() 内は前回調査（令和 6 年 7 月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が 42.2%（前回調査 45.3%）と最も高く、「人件費」が 30.8%（同27.4%）、「為替の変動」が 12.0%（同10.7%）、「エネルギー価格」が 11.8%（同13.2%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が 60.1%（同55.3%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の 27.0%（同22.1%）、小売業は「エネルギー価格」の 19.8%（同18.9%）、サービス業は「人件費」の 51.4%（同44.8%）がそれぞれ高い。

図表 7 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表 6）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
() 内は前回調査（令和 6 年 7 月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。